

略 歴

水谷 修

1956年、横浜に生まれる。少年期を山形にて過ごす。上智大学文学部哲学科卒業。横浜市にて、長く高校教員として勤務。12年間を定時制高校で過ごす。

教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行なっている。

また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。

その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。

現在、花園大学及び関西大学、大阪経済大学客員教授
著書

- 「ドラッグ世代—第五次薬物汚染期の若者たち」 1998年2月 太陽企画出版
「さらば、哀しみのドラッグ」 1998年11月 高文研
「さよならが、いえなくて—助けて、哀しみから」 2000年7月 日本評論社
「薬物乱用—今、何を、どう伝えるか」 2001年5月 大修館書店
「さらば、哀しみの青春—伝えたい、闇に沈む子どもたちの哀しみを・・・」 2003年4月 高文研
「ドラッグなんていらぬ—出会ってしまう前のきみに伝えたいこと」 2004年2月 東山書房
「夜回り先生」 2004年2月 サンクチュアリ出版
「夜回り先生と夜眠れない子どもたち—夜回り先生2」 2004年10月 サンクチュアリ出版
「夜回り先生の卒業証書」 2004年12月 日本評論社
「夜回り先生 水谷修のメッセージ—いいもんだよ、生きるって」 2005年1月 NHK ソフトウェア
「薬物乱用防止教育- その実際とあるべき姿」 (編著) 2005年4月 東山書房
「子どもたちへ—夜回り先生のメッセージ」 2005年8月 サンクチュアリ出版
「夜回り先生 こころの授業」 2005年10月 日本評論社
「いいじゃない、いいんだよ」 (共著) 2005年11月 講談社
「夜回り先生 水谷修のメッセージ2—生きていてくれてありがとう」 2006年4月 NHK ソフトウェア
「あした笑顔になあれ—夜回り先生の子育て論」 2006年6月10日 日本評論社
「夜回り先生のねがい—夜回り先生3」 2007年4月20日 サンクチュアリ出版
「あおぞらの星—夜回り先生と考える」 2007年5月20日 日本評論社
「夜回り先生のこどもたちよ!大人たちへ」 2007年6月20日 朝日新聞社
「さらば、哀しみのドラッグ 増補版」 2007年10月15日 高文研
「いいんだよ」 2008年4月15日 日本評論社
「夜回り先生」1巻~10巻 IKKI コミックス 小学館
「大人と子どもの絆」 (共著) 2008年10月7日 岩波ブックレット
「あおぞらの星2—夜回り先生と想う」 2009年2月15日 日本評論社
「だいじょうぶ」 (共著) 2009年3月15日 日本評論社
「夜回り先生」 2009年3月6日 小学館文庫
「夜回り先生と夜眠れない子どもたち」 2009年6月10日 小学館文庫
「さよならが、いえなくて—助けて、哀しみから 新装版」 2009年9月15日 日本評論社
「夜回り先生、こころの手紙—あおぞらの星3」 2009年12月15日 日本評論社
「手放してみる、ゆだねてみる」 (共著) 2010年3月15日 日本評論社
「子どもたちへ、大人たちへ」 2010年4月7日 小学館文庫
「子育てのツボ- 夜回り先生からの50のアドバイス」 2010年11月15日 日本評論社
「夜回り先生、いのちの授業」 2011年7月5日 日本評論社

